



第108期入校生

前期（第一〇七）初任科が卒立った後を受け、後期（第一〇八期）の入校式が、十月十七日（木）午前十時から県立消防学校において、県内十三消防本部から総勢六十名の学生を迎えて挙行されました。

式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞（長岡校長）、知事告辞（宗像消防安全課長）、続いて来賓祝辞として、消防長会長（小泉消防長）より祝辞がありました。

県立消防学校初任科（後期）  
入 校 式



10・11月号

発行所  
水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉社会館内  
公益財団法人茨城県消防協会  
編集発行人  
葉梨 衛  
印刷所  
㈲堀口印刷  
1部 15円  
(購読料は負担金に含まれています)

既に半年間、各消防本部において先輩方から指導を受けてこられた学生諸君ですが、初心に戻り、これから半年間、消防学校で心身の鍛錬と消防職員として必要な知識・技能を習得し、複雑多様化する各種災害に即戦力として柔軟に対応できる職員に卒立つていけることを期待いたします。

十月十六日（水）から十八日（金）の日程で、熊本県・長崎県を研修先として、葉梨会長はじめ理事十三名、事務局二名が出席し理事研修会を実施しました。

一日目の熊本県上益城郡益城町では、平成二十八年の熊本地震での被災状況や消防団の活動状況について、北野益城町消防団長と益城町危機管理課職員の方から説明を受けました。

益城町では、地震により九十八%の家屋が損壊しましたが、これは四月十四日の地震ではなく翌々日の十六日に発生した地震によるもので、この十六日の地震により家屋のほとんどが損壊したため、犠牲者が出るとともに大勢の方が被災するなど、甚大な被害となりました。

消防団活動では、団員も被災している中、捜索活動など

多岐に渡りましたが、被災直後は特に水や食料の確保に苦労しました。幸いにも農家が多いこともあり、団員間で米等を分けあいながら都合することで対応ができましたとのことです。

また、ジャッキ等の資機材を事前準備できていれば、倒壊した家屋からの救助に役立つことができ、速やかに救出活動が出来たのではないかと反省しているなど、実体験に基づいた貴重なお話を拝聴することができました。

二日目は、午前中に修復工事を行っている熊本城を視察し、復興の完了までは二十年以上が必要とのことでした。午後は、平成二年に発生した雲仙普賢岳の噴火の教訓を伝える「がまだすドーム」の視察を行い、三日目は、国宝「大浦天主堂」や「長崎原爆資料館」の視察を行いました。

一日目の熊本県上益城郡益城町では、平成二十八年の熊本地震での被災状況や消防団の活動状況について、北野益城町消防団長と益城町危機管理課職員の方から説明を受けました。

また、閉会式では当協会の葉梨会長が、日本消防協会の副会長として万歳三唱の発声を行いました。



常総市女性消防隊操法

令和元年十一月十三日（水）に神奈川県横浜市の横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催された「第二十四回全国女性消防操法大会」に本県代表として常総市女性消防隊が出場しました。

常総市女性消防隊の出場順は一コース五番目で、当日は風があり、肌寒い中の操法となり、残念ながら上位入賞はなりませんでしたが、今回出場した常総市女性消防隊には、これから時代を担う高校生が二名（二番員・三番員）出場し、厳しい訓練に耐え、大勢の観衆が見つめる緊迫した状況のなかでの操法は、貴重な体験になったことだと思います。





閉会式葉梨会長万歳三唱



記念撮影(制服:葉梨会長)

な、優勝・準優勝チームは次のとおりです。  
○優勝  
八代市本部女性消防隊(佐賀県)  
和木町女性消防隊(山口県)  
○準優勝  
唐津市女性消防隊(佐賀県)  
和木町女性消防隊(熊本県)

な、優勝・準優勝チームは次のとおりです。

## 令和元年 秋の叙勲・褒章

令和元年秋の叙勲・褒章者が総務省から発令されました。  
本県からは、秋の叙勲が十一名、危険業務従事者叙勲が十七名、藍綬褒章が一名、合計二十九名の皆様が受章の栄に浴されました。

伝達式は、秋の叙勲が十二月十二日(木)・ニッショーホール、危険業務従事者叙勲が十二月十日(火)・総務省合同庁舎第二号館、秋の褒章が十二月十七日(火)・スクワール麹町にてそれぞれ実施され、同日の午後には、皇居内において挙揚も執り行われました。

受章者の皆様の永年にわたるご尽力とご功績に対し、心から感謝と敬意を表します。

以下、順不同にて受章者の略歴等をご紹介します。

( )は発令日現在の年齢

○熊田 勝行(八十六)  
元那珂湊市消防団分團長  
消防歴 三十五年六月  
ひたちなか市在住

○井川 栄(六十五)  
元鉾田市消防団副團長  
消防歴 三十四年  
鉾田市在住

○皆藤 博之(六十七)  
元小美玉市連合美野里消防団副團長  
消防歴 四十年三月  
小美玉市在住

○中川 源一(七十二)  
元大和村消防団副團長  
消防歴 三十七年一月  
桜川市在住

○野口 來(七十六)  
元神栖市消防団團長  
消防歴 三十六年  
神栖市在住

○鈴木 徹(七十九)  
元日立市消防団副分團長  
消防歴 四十一年三月  
日立市在住

○鈴木 明(七十九)  
元日立市消防団分團長  
消防歴 四十年四月  
日立市在住

○小室 丈(七十一)  
元水戸市消防団分團長  
消防歴 四十五年十一月  
水戸市在住

## 行方市消防団優勝

第二十七回全国消防操法大会 茨城県代表選考会  
(小型ポンプ操法の部)

第七十回茨城県消防ポンプ操法競技大会が十月六日(日)の県央地区で開催されました。各地区において開催された代表チームの五チームによる第二十七回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催されました。当時は、朝七時の開門を待ちかねた各チームの応援団の車両が続々到着し、次々と応援テントの設営が始まりました。開会式の後、十時から競技が開始され、各地区代表チームとして甲乙付けがたい白熱した素晴らしい操法競技が開催されました。

**小型ポンプ操法の部**

○優勝	行方市消防団
○敢闘賞	小美玉市消防団
○敢闘賞	那珂市消防団
○敢闘賞	稲敷市消防団
※敢闘賞	石岡市消防団
※敢闘賞	出場順

最後に、選手及び関係者の皆様のご協力に感謝いたしますとともに、行方市消防団の全国消防操法大会での活躍をご期待いたします。なお、結果は次のとおりです。

優勝行方市消防団 制服左から邊田団長  
服部県防災・危機管理部長 長岡消防学校長

○ 平本 光良(八十歳)  
元 美野里町消防団分団長  
消防歴 三十五年四月  
小美玉市在住

○ 横張 壽昭(七十七)  
元 水海道市消防団分団長  
消防歴 四十一年十月  
常総市在住

○ 秋田 榮一(七十三)  
元 取手市消防司令長  
消防歴 三十六年一月  
つくばみらい市在住

○ 石井 一樹(六十五)  
元 日立市消防監  
消防歴 四十二年  
日立市在住

○ 伊東 壽夫(七十)  
元 鹿島地方消防司令長  
消防歴 三十八年  
千葉県鎌子市在住

○ 小澤 謙一(六十九)  
元 日立市消防監  
消防歴 三十九年  
日立市在住

○ 蛭田 忠司(七十五)  
元 北茨城市消防司令長  
消防歴 三十四年十月  
北茨城市在住

○ 鈴木 道夫(六十六)  
元 大洗町消防司令長  
消防歴 三十七年  
大洗町在住

○ 佐久間 義友(六十五)  
元 大洗町消防司令長  
消防歴 三十九年  
大洗町在住

○ 関根 政起(六十五)  
元 大洗町消防司令長  
消防歴 三十九年  
大洗町在住

○ 辻田 正(六十七)  
元 鹿島地方消防司令長  
消防歴 四十二年  
鹿嶋市在住

○ 仲田 尚男(六十八)  
元 鹿島地方消防司令長  
消防歴 四十二年  
神栖市在住

○ 柳橋 広之(六十五)  
元 日立市消防監  
消防歴 四十年十一月  
日立市在住

○ 庄司 文雄(七十四)  
元 日立市消防司令長  
消防歴 三十九年  
東海村在住

○ 土肥 操(六十八)  
元 土浦市消防司令長  
消防歴 三十九年  
土浦市在住

○ 時原 三夫(六十九)  
元 土浦市消防司令長  
消防歴 三十九年  
阿見町在住

○ 蛭田 忠司(六十九)  
元 ひたちなか市消防司令長  
消防歴 四十年九月  
ひたちなか市在住

○ 渡辺 邦(六十七)  
元 篠西広域消防司令長  
消防歴 四十年六月  
筑西市在住

○ 宮川 昌巳(六十九)  
現 筑西市消防団團長  
消防歴 三十八年七月  
筑西市在住

○ 伸田 尚男(六十八)  
元 鹿島地方消防司令長  
消防歴 四十二年  
鹿嶋市在住

○ 柳橋 広之(六十五)  
元 日立市消防監  
消防歴 四十年十一月  
日立市在住

○ 風見 勉(七十二)  
元 稲敷広域消防司令  
消防歴 三十八年  
龍ヶ崎市在住

○ 庄司 文雄(七十四)  
元 日立市消防司令長  
消防歴 三十九年  
東海村在住

○ 土肥 操(六十八)  
元 土浦市消防司令長  
消防歴 三十九年  
土浦市在住

○ 時原 三夫(六十九)  
元 土浦市消防司令長  
消防歴 三十九年  
阿見町在住

○ 蛭田 忠司(七十五)  
元 北茨城市消防司令長  
消防歴 三十四年十月  
北茨城市在住

**【瑞宝双光章】**

従事者叙勲

**【瑞宝单光章】**

# △△△藍綬褒章△△△



県庁伝達式(11月5日)

一 開式のことば  
(森田副会長(城里町團長))

二 黙とう  
(河津隆茨城県議會議長)

三 祭主あいさつ  
(葉梨会長)

四 追悼のことば  
(鈴木善彰日本消防協会総務部長)

五 花輪献上  
(葉梨会長・塚田祐子様(遺族代表))

六 祭主あいさつ  
(岡山副会長(常陸大宮市團長))

七 公開式のことば  
(岡山副会長(常陸大宮市團長))

八 閉式のことば  
(岡山副会長(常陸大宮市團長))



花輪献上

# 茨城県消防殉職者慰靈祭

令和元年度

# 茨城県消防大会開催

令和元年度

茨城県消防協会主催による消防殉職者の慰靈祭が、令和元年十一月七日(木)十時から、県立消防学校に建立されてい「殉職消防団員職員之碑」の前において、遺族をはじめ茨城県の大井川知事など多数の来賓及び県内の消防職員等が参列し、これまでの殉職者七十九柱の功績を偲び、次の式次第のとおり厳粛に執り行われました。

「殉職消防団員職員之碑」は、昭和五十七年に現在地に建立され毎年秋に一回、消防協会主催で慰靈祭を行っておりま

一 開会のことば  
(邊田副会長(行方市團長))

二 国歌齊唱

三 式辞(大井川知事)

茨城県と茨城県消防協会の共催による「殉職消防団員職員之碑」の前において、遺族をはじめ茨城県の大井川知事など多数のご来賓並びに消防関係者の出席もとに、県立消防学校で開催されました。大会は次の式次第のとおり滞りなく進められ、盛会のうちに終了しました。

茨城県消防協会長表彰	河津隆茨城県議会議長
【優良分団】 阿見町消防団	染谷森雄茨城県町村会長
【永年勤続功労章】 研修会が十一月二十六日(火)に日立市消防拠点施設三階講堂において開催されました。	表彰
【優良分団】 結城市消防団第五分団	消防協会長表彰(葉梨会長)
【優良分団】 五霞町消防団	謝辞
【優良分団】 副団長	弓野行男副分団長(日立市)
【優良分団】 他三十名	決議(堀越副会長(龍ヶ崎市長))
【優良分団】 他三十名	(羽野島副会長(桜川市長))
【優良分団】 他三十名	万歳三唱(川崎副会長(土浦市長))
【優良分団】 他三十名	閉会のことば
【優良分団】 他三十名	なお、受章者は次のとおりです。
【優良分団】 他三十名	茨城県知事表彰
【優良分団】 他三十名	【功労章】
【優良分団】 他三十名	日立市消防本部 消防正監 高信 他十一名 均
【優良分団】 他三十名	稻敷広域消防本部 消防正監 濵谷 明宏 他七十五名
【優良分団】 他三十名	城里町消防団 副分団長 弓野 行男 他一名
【優良分団】 他三十名	○勤続三十年以上 境町 消防団 副分団長 本谷 隆司 他五百二十五名
【優良分団】 他三十名	○勤続三十年以上 元古河市消防団 团長 知久 秀夫 他九名
【優良分団】 他三十名	○勤続三十年以上 五霞町消防団 团長 富森 一郎 他百五十八名
【優良分団】 他三十名	【表彰】 退職消防職員等表彰
【優良分団】 他三十名	【表彰】 消防団協力事業所表彰
【優良分団】 他三十名	【表彰】 株式会社 柴建設
【優良分団】 他三十名	【表彰】 消防団表彰
【優良分団】 他三十名	【表彰】 阿見町消防団
【優良分団】 他三十名	【表彰】 五霞町消防団
【優良分団】 他三十名	【表彰】 副団長
【優良分団】 他三十名	【表彰】 石川 孝一
【優良分団】 他三十名	【表彰】 他九十名
【優良分団】 他三十名	【表彰】 他一消防団



代表謝辞

【功労章】	常陸大宮市消防団 副団長 藤田 佳史
【功労章】	筑西広域消防本部 消防司令官 中嶋 優
【功労章】	かすみがうら市消防団 副団長 宮本 仁
【功労章】	夫 人 文子
【功労章】	他一百九名
【家族消防団員】	取手市消防団 团員 香取 隆
【家族消防団員】	班 長 香取 悠太
【家族消防団員】	香取 陽介
【家族消防団員】	他十一組
【消防団分団後援会】	高萩市消防団第九分団後援会
【消防団分団後援会】	他四団体

茨城県消防協会県北支部女性消防団員研修会開催



オリジナルTシャツ  
アポロキャップ  
徽章類  
消防グッズ各種  
ハッスル黄門ストラップ取扱店

水戸スポーツ株式会社  
水戸市袴塚1-1-2  
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

雨合羽作成作り  
スリッパ作り



県北支部九市町村の消防団長、女性消防団員や事務局職員及び関係消防本部消防長等と県消防安全課及び消防学校の職員及び当協会事務局職員も参加させていただきました。約八十名の方が集まりました。当日は、川井團長(日立市)の開会の言葉に続き岡山團長(常陸大宮市)から支部長あいさつ、来賓紹介があり、「女性消防団の視点を活かした地域防災」と題して阿見町女性消防団の山本部長、浅野班長から講演がありました。また、ゴミ袋を利用しての雨合羽作りや新聞紙で作るスリッパの美演もあり、参加者も一緒に作成し、避難所で役立つ防災グッズを学ぶことができ大変有意義な研修会となりました。今回事務局の日立市消防本部の皆様及び関係者の方々に感謝申し上げます。

全国シェアNo.1の消防車メーカー  
**(株)モリタの各種消防自動車**

常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目

小型動力消防ポンプ・消防用ホース  
救助資機材・潜水機材・消防用被服  
防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店  
**有限会社 鈴機**  
〒315-0014 石岡市国府5-2-25  
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

**Panasonic**

自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店

**株式会社入江電機工業所**

本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL:029-224-4614(代表)  
FAX:029-224-4613

千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL:029-241-3636(代表)  
FAX:029-244-0540

土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL:029-821-8498(代表)  
FAX:029-822-6575

**トーハツ 小型消防ポンプ**

充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

**消防ポンプ自動車 消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式**

茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**  
水戸市三の丸3丁目7番1号  
TEL:029(224)3324(代) FAX:029(224)3360